

平成 22 年 12 月 2 日
国 土 交 通 省
国土技術政策総合研究所

生活道路における走行速度抑制に関する社会実験の実施について

国土交通省国土技術政策総合研究所では、生活道路における交通事故削減方策の検討を行っています。この度、埼玉県熊谷市の協力をいただき、交通事故削減を行う方策の一つとして、シケイン等の形状と自動車走行速度の抑制効果との関係について検証を行うことといたしました。具体的には、簡易デバイス（ゴム製ポール）を用いて、どのような配置が走行速度抑制に効果があるかについて、下記の通り、公道において社会実験を実施し、検証することにしたので、お知らせいたします。

記

1. 実験実施期間

平成 22 年 12 月 4 日（土）～ 12 月 24 日（金） 計 21 日間（予定）

※実施期間は、天候状況等により、変更する場合があります。

2. 実験実施場所（詳細は別紙参照）

埼玉県熊谷市銀座 1 丁目地内 熊谷市道 熊谷女子高南通りの一部の区間

3. 実験内容（詳細は別紙参照）

生活道路において、簡易デバイス（ゴム製ポール）を用いて配置間隔・形状を変化させたシケイン・狭さく計 3 通りの配置を行い、どのような配置が走行速度抑制に効果があるか検証する。

4. 調査内容

実験期間中に、ビデオカメラを用いた走行速度調査、騒音調査、利用者アンケート調査を実施する予定です。

以上

問い合わせ先

国土交通省国土技術政策総合研究所道路研究部道路空間高度化研究室 本田・伊藤

TEL : 029-864-4539 FAX : 029-864-2873

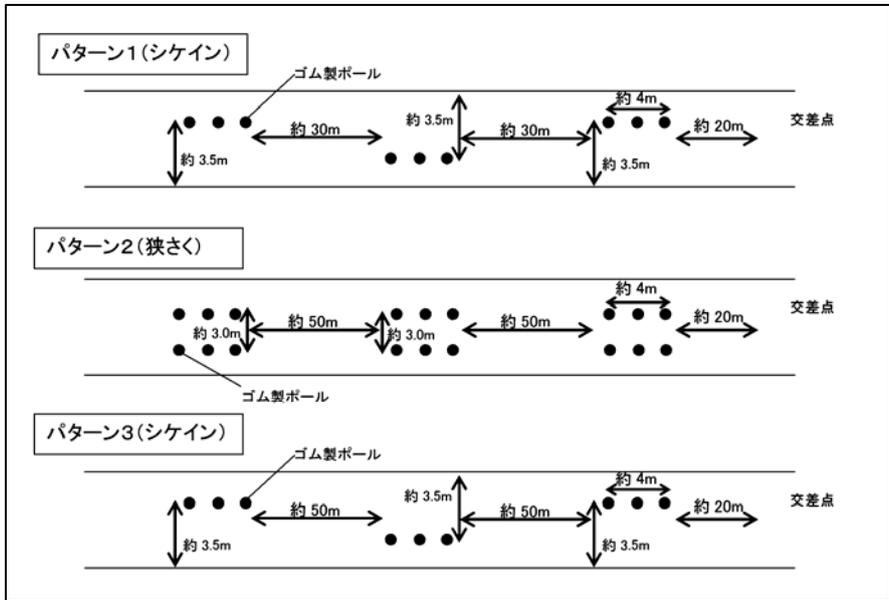
走行速度抑制に関する社会実験の概要

○実験実施場所

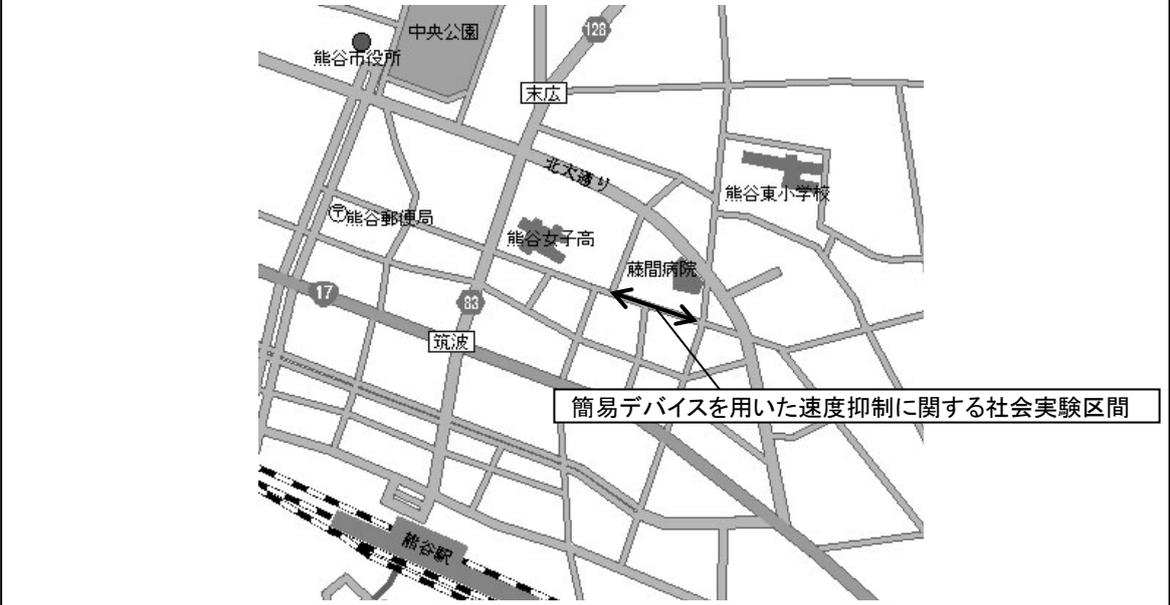
埼玉県熊谷市銀座1丁目地内 熊谷市道 熊谷女子高南通り
区間 日本たばこ産業(株)埼玉北営業所～藤間病院第一駐車場 の区間

○実験内容(裏面、社会実験イメージ図参照)

- パターン1 シケイン(設置間隔約 30m) (12/4～10(予定))
- パターン2 狭さく(設置間隔約 50m) (12/10～17(予定))
- パターン3 シケイン(設置間隔約 50m) (12/17～24(予定))



社会実験実施場所



社会実験 イメージ図

○パターン1 シケイン (設置間隔 約30m)



○パターン2 狭さく (設置間隔 約50m)



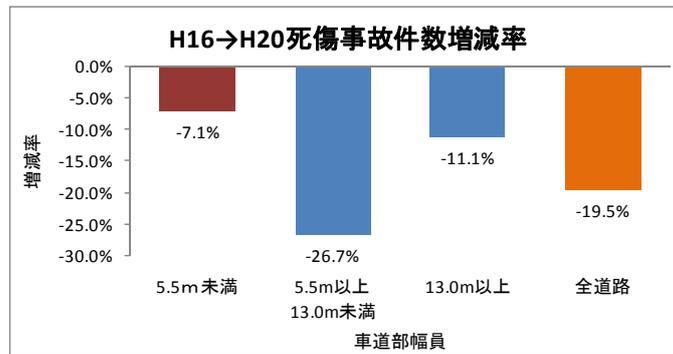
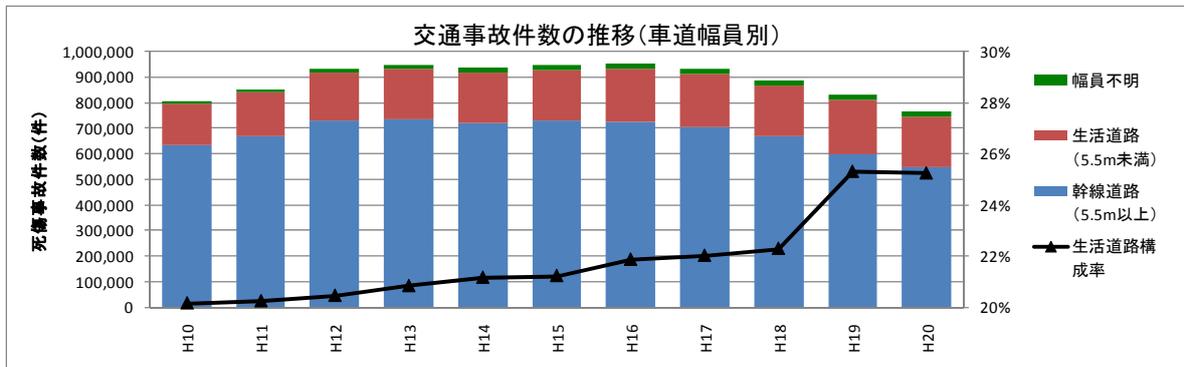
○パターン3 シケイン (設置間隔 約50m)



注：ゴム製ポールの設置位置・間隔は実際と多少異なる場合があります。

参考 1：交通事故件数の推移

日本の交通事故件数は近年減少傾向にあるものの、比較的幅員の狭い道路（車道幅員 5.5m 未満の道路）（以下、生活道路とする。）についてはあまり変化がなく、全体の交通事故件数に占める生活道路における交通事故件数の割合（生活道路構成率）は増加する結果となっており、生活道路における効果的な交通事故対策の推進が望まれています。



警察庁資料より作成

参考2：走行速度抑制のための一般的なデバイス事例
シケイン 狭さく



熊谷市駅西通線におけるデバイス事例
スラローム



ハンプ

